



2026年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年4月30日

上場会社名 株式会社アバントグループ 上場取引所 東
 コード番号 3836 URL <https://www.avantgroup.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森川 徹治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当 (氏名) 春日 尚義 (TEL) 03-6388-6739
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第3四半期の連結業績(2025年7月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第3四半期	22,828	9.0	4,396	10.0	4,072	12.3	3,975	9.8	2,542	12.0
2025年6月期第3四半期	20,938	17.6	3,996	15.2	3,625	17.9	3,620	17.1	2,270	15.0

(注) 包括利益 2026年6月期第3四半期 2,585百万円(23.2%) 2025年6月期第3四半期 2,099百万円(4.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年6月期第3四半期	円 銭 70.16	円 銭 —
2025年6月期第3四半期	62.24	—

※EBITDA(営業利益+減価償却費+のれん償却額)

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年6月期第3四半期	百万円 21,160	百万円 14,361	% 67.9
2025年6月期	24,373	15,597	63.9

(参考) 自己資本 2026年6月期第3四半期 14,361百万円 2025年6月期 15,582百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年6月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 25.00	円 銭 25.00
2026年6月期	—	0.00	—	—	—
2026年6月期(予想)	—	—	—	32.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年6月期の連結業績予想(2025年7月1日~2026年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,300	18.0	5,100	10.8	5,100	10.6	3,500	1.9	95.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年6月期3Q	36,009,551株	2025年6月期	37,645,851株
② 期末自己株式数	2026年6月期3Q	1,387,599株	2025年6月期	1,150,177株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年6月期3Q	36,231,745株	2025年6月期3Q	36,474,662株

- (注) 1. 当社は、2024年6月期（第28期）より「従業員及び執行役員向け株式交付信託」を、2025年6月期（第29期）より「役員向け株式交付信託」を導入しております。当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均自己株式数に含めて表示しております。
2. 当社は、2026年3月31日に自己株式を消却したため、「期末発行済株式数」が1,636,300株減少しております。

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）9ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	9
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	10
(1) 四半期連結貸借対照表	10
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	12
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	14
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	16
(継続企業の前提に関する注記)	16
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	16
(追加情報)	16
(セグメント情報)	17
(収益認識関係)	18
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（以下「当第3四半期」という。）における連結業績は以下の通りです。

（単位：百万円 [単位未満切捨て]）

	2025年6月期 第3四半期	2026年6月期 第3四半期	前年同四半期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	20,938	22,828	1,889	9.0
営業利益	3,625	4,072	446	12.3
経常利益	3,620	3,975	354	9.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,270	2,542	272	12.0

連結売上高に関しては、お客様である日本企業の間で中長期的なトレンドとなりつつある「データ及びデジタル技術を活用した企業経営・企業活動の高度化」を通じた競争力維持・強化のための投資ニーズは基本的な情報環境整備に伴い一定の落ち着きが見られるものの、引き続き堅調であり、連結決算開示事業、デジタルトランスフォーメーション推進事業を中心に売上成長を実現したことにより、22,828百万円（前年同四半期比9.0%増）と増収になりました。

利益に関しては、業容拡大に応じた人件費、採用費及びIT費用、オフィスの移転及び増床に伴うオフィス費用、ソフトウェアビジネス強化を中心とした将来成長を実現するための投資性の費用等が増加したものの、ソフトウェアビジネスの成長による利益率の向上及び自社リソースを補うための外注加工費が減少したこともあり、営業利益4,072百万円（前年同四半期比12.3%増）、経常利益3,975百万円（前年同四半期比9.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,542百万円（前年同四半期比12.0%増）となりました。

なお、当社は当第3四半期連結累計期間より、事業セグメントの区分方法を見直し、「連結決算開示事業」「デジタルトランスフォーメーション推進事業」「経営管理ソリューション事業」は1社1セグメントで構成し、その他の小規模法人については「その他」に区分するように変更しております。これに伴い、各セグメントの前年同四半期の実績値を変更後のセグメント区分に組み替えて表記しております。

各セグメントの状況は以下の通りです。

① 売上高

（単位：百万円 [単位未満切捨て]）

	2025年6月期 第3四半期	2026年6月期 第3四半期	前年同四半期比	
			増減額	増減率(%)
連結決算開示事業	6,141	7,141	1,000	16.3
デジタルトランス フォーメーション推進事業	7,729	8,457	727	9.4
経営管理ソリューション事業	7,016	7,139	122	1.8
その他	315	365	49	15.8
セグメント間取引消去	△263	△275	△11	—
連結売上高	20,938	22,828	1,889	9.0

② 営業利益

(単位:百万円 [単位未満切捨て])

	2025年6月期 第3四半期	2026年6月期 第3四半期	前年同四半期比	
			増減額	増減率(%)
連結決算開示事業	1,663	2,305	641	38.6
デジタルトランス フォーメーション推進事業	1,312	1,580	267	20.4
経営管理ソリューション事業	1,316	947	△369	△28.1
その他	69	57	△11	△17.1
全社費用及び当社と セグメントとの取引消去等	△736	△818	△81	—
連結営業利益	3,625	4,072	446	12.3

連結決算開示事業については、当第3四半期連結累計期間より一部の保守サービスの取引が経営管理ソリューション事業から商流変更されたことに加え、アウトソーシングビジネスが引き続き高い成長率を維持して増収に貢献したことにより、売上高は7,141百万円（前年同四半期比16.3%増）と増収になりました。収益性の面においては、人員増加やオフィスの増床に伴う人件費及びオフィス費用の増加といったコスト増の要因はあるものの、採用費の減少に加え、生産性の向上及びソフトウェアビジネスにおけるクラウド移行の推進等の影響で利益率が向上したことにより、営業利益2,305百万円（前年同四半期比38.6%増）と売上増を大きく上回る増益率となりました。

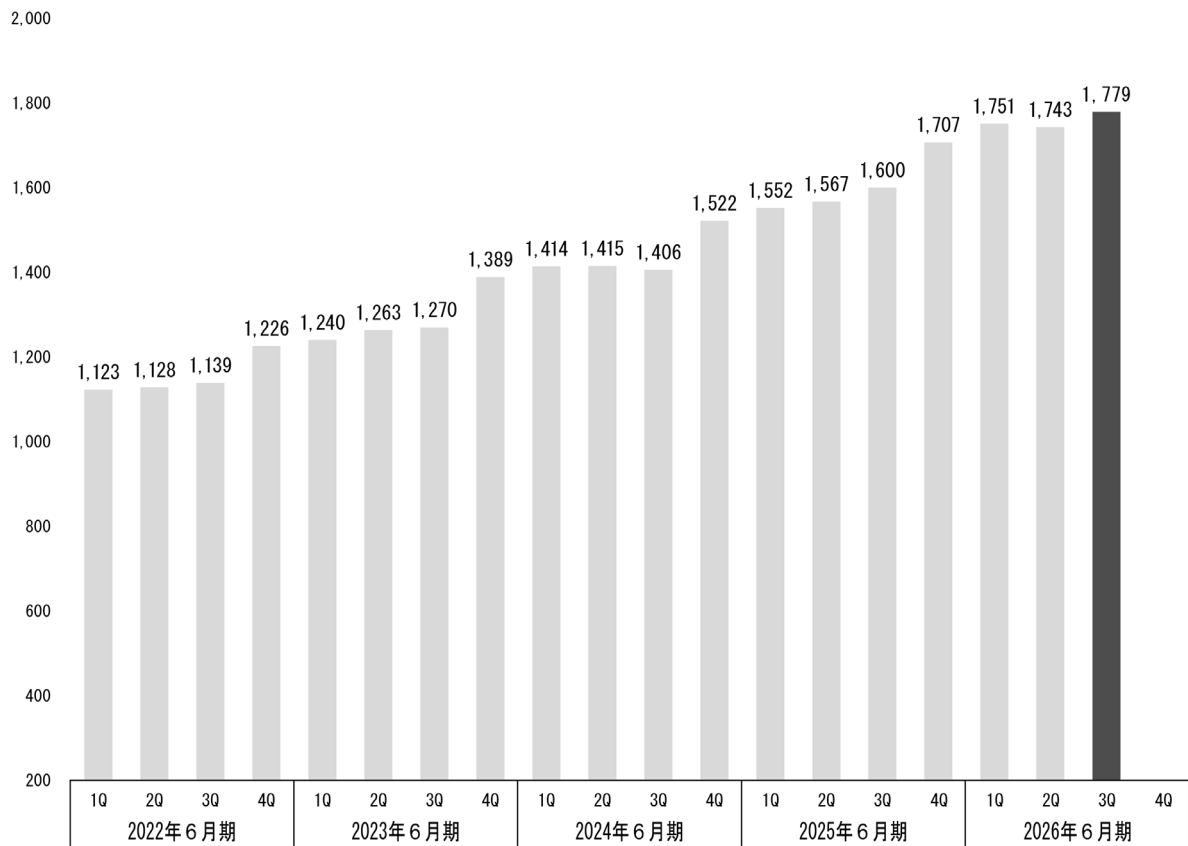
デジタルトランスフォーメーション推進事業については、顧客ニーズの高度化に伴い一定の落ち着きは見られるものの、経営や事業推進に関わる意思決定にデータを活用するニーズは引き続き堅調であり、「クラウド・データ・プラットフォームの構築」を中心とする案件の増加が増収を牽引した結果、売上高は8,457百万円（前年同四半期比9.4%増）と増収になりました。売上成長を支えるための人員増に伴う人件費の増加、オフィスの移転に伴う一時費用やオフィス費用等の増加はあるものの、自社リソースを補うための外注費は減少したことに加え、前年同期に一部の大型案件のキャンセルによって収益性が悪化していた反動もあり、営業利益は1,580百万円（前年同四半期比20.4%増）と増益になりました。

経営管理ソリューション事業については、ソフトウェアビジネスの売上は増加しているものの、当第3四半期連結累計期間より一部の保守サービスの取引が連結決算開示事業に商流変更された影響もあり、売上高7,139百万円（前年同四半期比1.8%増）の微増となりました。上記要因によって売上成長が限定的となったことに加え、将来成長のための人員確保に伴う人件費増及びソフトウェアビジネス強化のための研究開発費、マーケティング費用、外注費の増加等により、営業利益は947百万円（前年同四半期比28.1%減）と減益になりました。

なお、連結従業員数は当第3四半期末で1,779名となり、前連結会計年度末から72名増加しております。

当社グループ従業員数の四半期別推移

(単位：人)



当第3四半期におけるセグメント別の受注及び販売の状況は次の通りです。

① 受注実績

(単位:百万円 [単位未満切捨て])

	2025年6月期 第3四半期		2026年6月期 第3四半期		前年同四半期比	
					増減額	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
連結決算開示事業	6,410	4,783	7,724	5,573	1,313	789
デジタルトランス フォーメーション推進事業	7,358	1,698	8,534	2,089	1,176	390
経営管理 ソリューション事業	6,347	3,332	6,776	2,808	428	△523
その他	278	134	315	149	36	14
セグメント間取引消去	△312	△2,023	△344	△945	△31	1,077
合計	20,082	7,926	23,005	9,674	2,923	1,748

② 販売実績

(単位:百万円 [単位未満切捨て])

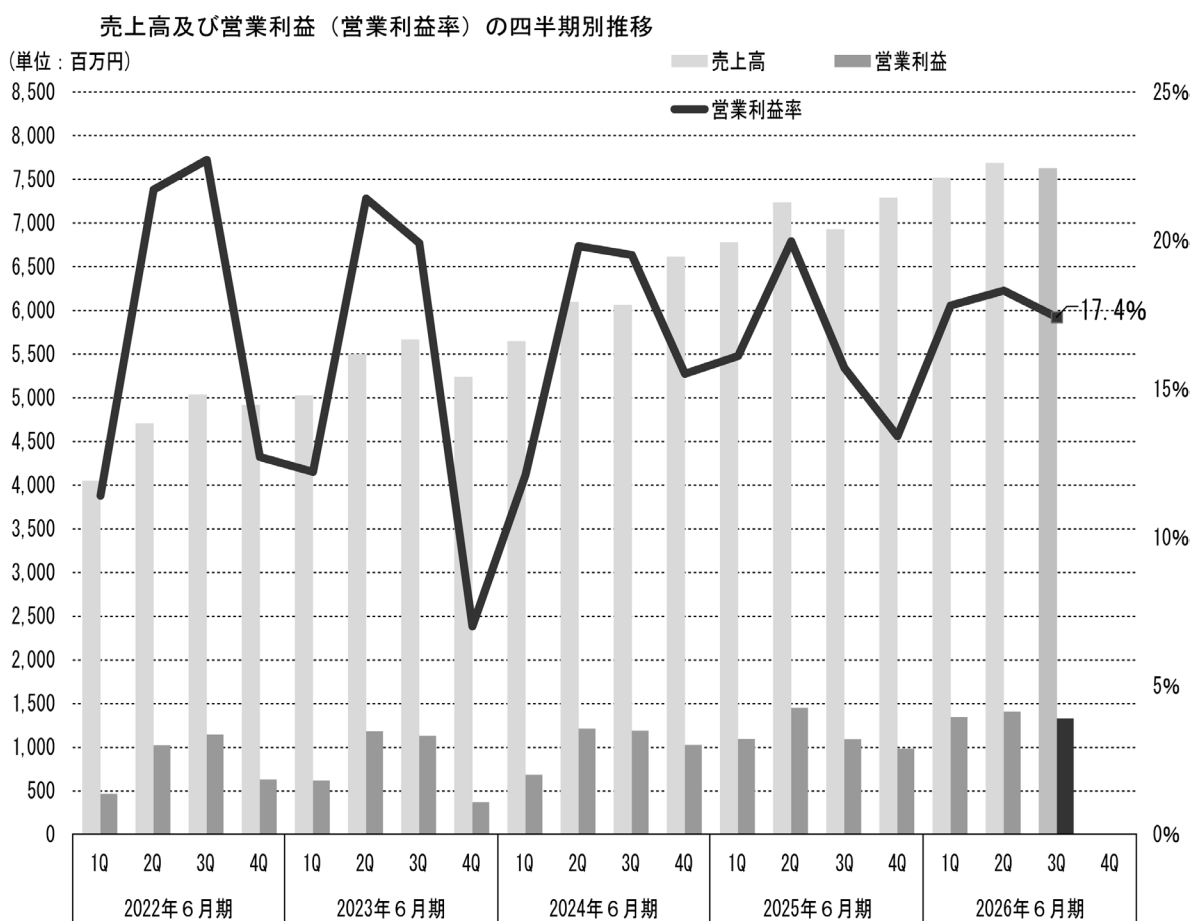
	2025年6月期 第3四半期		2026年6月期 第3四半期		前年同四半期比	
					増減額	増減率(%)
連結決算開示事業	6,141		7,141		1,000	16.3
デジタルトランス フォーメーション推進事業	7,729		8,457		727	9.4
経営管理 ソリューション事業	7,016		7,139		122	1.8
その他	315		365		49	15.8
セグメント間取引消去	△263		△275		△11	—
合計	20,938		22,828		1,889	9.0

四半期毎の売上高及び営業利益の推移は次の通りです。

直近4四半期の売上高及び営業利益

(単位:百万円 [単位未満切捨て])

	2025年6月期	2026年6月期		
	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
売上高	7,289	7,515	7,686	7,625
営業利益	978	1,341	1,404	1,326
営業利益率 (%)	13.4	17.8	18.3	17.4



(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の資産合計は、21,160百万円（前連結会計年度末比3,212百万円減）となりました。これは主に、現金及び預金の減少4,043百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加268百万円、投資有価証券の増加101百万円、関係会社株式の増加409百万円などによるものであります。

一方、負債合計は6,798百万円（前連結会計年度末比1,976百万円減）となりました。これは主に、未払法人税等の減少259百万円、契約負債の減少777百万円、賞与引当金の減少577百万円などによるものであります。

また、純資産合計は親会社株主に帰属する四半期純利益2,542百万円の計上と自己株式の取得3,001百万円及び剰余金の配当930百万円の支払いなどにより、14,361百万円（前連結会計年度末比1,235百万円減）となりました。この結果、自己資本比率は67.9%（前連結会計年度末は63.9%）と、前連結会計年度末に比べ4.0ポイント向上し、有利子負債も少なく安定性の高い財務バランスを保っていると考えております。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3,827百万円減少し、11,334百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下の通りです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、1,148百万円となりました。（前年同四半期は1,827百万円の獲得）

増加要因の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益3,975百万円、減価償却費324百万円、減少要因の主な内訳は、賞与引当金の減少額577百万円、売上債権及び契約資産の増加額268百万円、契約負債の減少額777百万円、法人税等の支払額1,565百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、990百万円となりました。（前年同四半期は288百万円の使用）

支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出243百万円、投資有価証券の取得による支出130百万円、関係会社株式の取得による支出420百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、4,011百万円となりました。（前年同四半期は1,056百万円の使用）

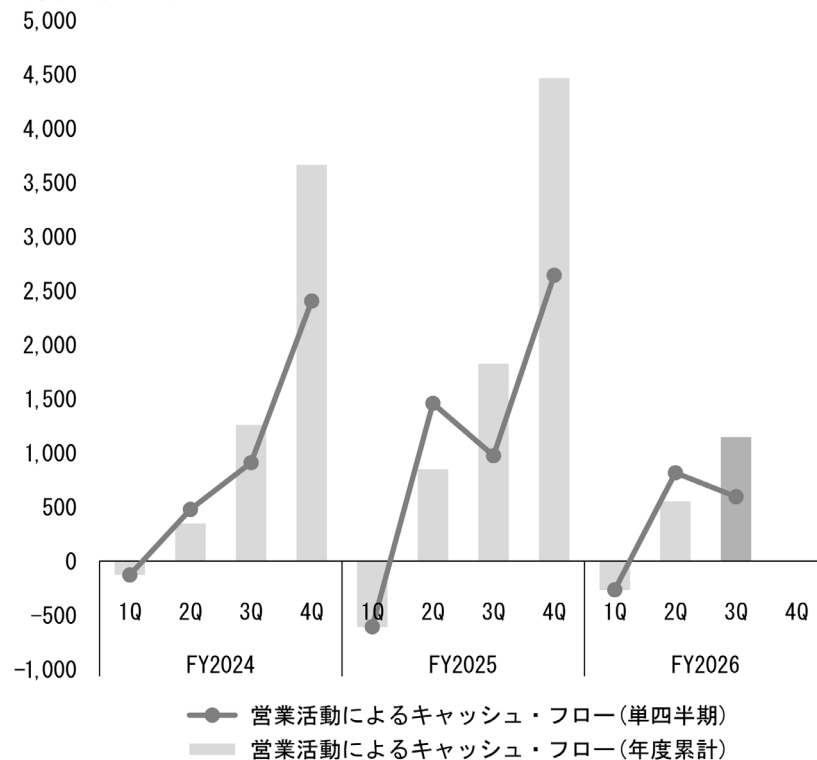
支出の主な内訳は、自己株式の取得による支出3,001百万円、配当金の支払額930百万円であります。

なお、当社グループでは、法人税等の支払や役員への業績連動賞与の支給などによって第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは低水準となり、第2四半期以降に徐々に増加し、通期で見るとプラスとなるのが通例となっております。

連結決算開示事業及び経営管理ソリューション事業における保守料やアウトソーシングビジネスの支払手数料については、役務の提供前に年間分が前払いされることから、元より運転資金がほとんど必要のないビジネスモデルとなっています。反面、デジタルトランスフォーメーション推進事業は外注費等の支払いが先行するため、売上が伸びるに従って増加運転資金需要が発生することになりますが、グループ全体の余剰資金を持株会社へ集中することにより、グループ間での円滑な資金融通を可能としているほか、グループ全体としては、現金総保有高に加え、取引各行と総額35億円のコミットメントラインを設定しているところから、現状資金繰りに懸念はなく、むしろ今後は余剰資金を戦略的な投資に利用していく意向です。

営業活動によるキャッシュ・フローの四半期別推移

(単位：百万円)



(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社では2023年8月に中期経営計画として、2028年6月期までの5ヶ年計画（5年後の達成目標）を発表しました。その3年目となる2026年6月期は、ソフトウェアビジネスの強化を中心として、アバントグループのマテリアリティ（「企業価値の向上に役立つソフトウェア会社になる」）を実現するための施策を引き続き推進してまいります。マテリアリティ実現に必要となる成長投資は、グループ事業会社を中心に今後も継続的かつ機動的に実施していくことに加え、新製品開発のためのR&D費用や新規事業立ち上げのための投資費用が持株会社でも発生することを見込んでおり、5か年の期間で徐々に効果が表れるものと見ております。

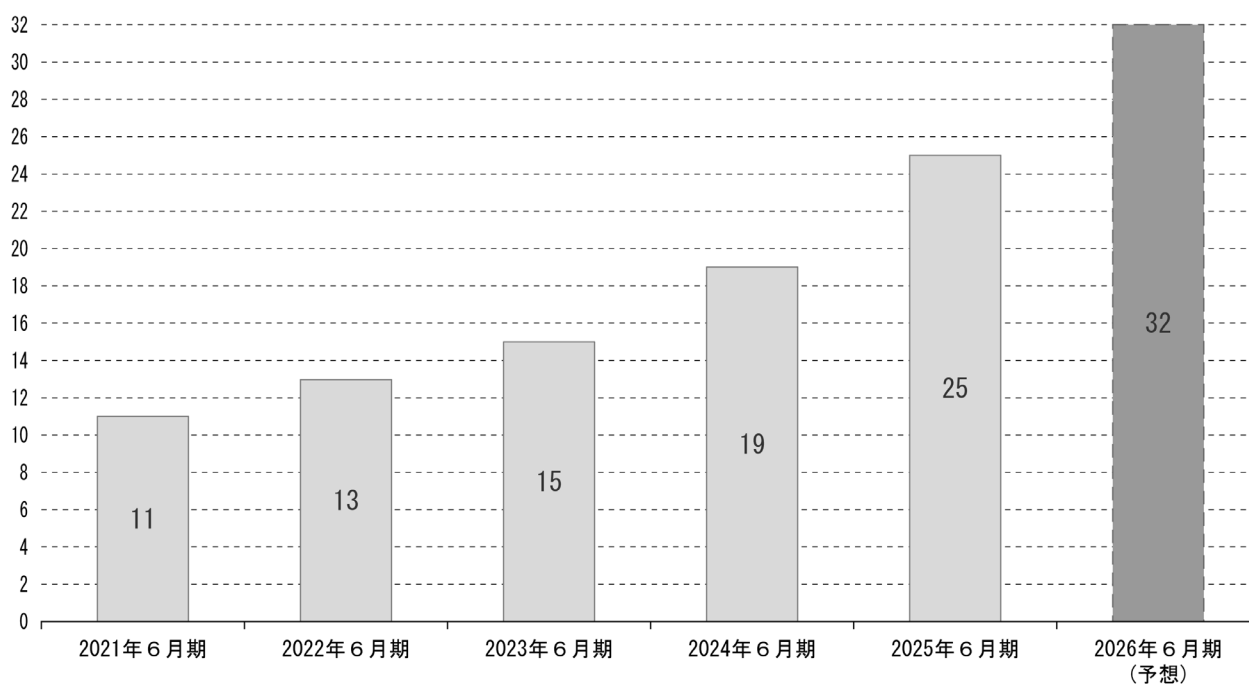
米国の政策動向に伴う不確実性や中東・ウクライナ情勢などの地政学リスクの高まりを背景とする景気後退懸念といった不安定要因は、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性はあるものの、データを活用した経営やグループ・ガバナンスの強化を志向する企業の増加など、当社グループの事業へのニーズについては、むしろ今後も中長期的に高まっていくものと捉えております。

これらの結果として、当連結会計年度は売上高33,300百万円及び営業利益5,100百万円の達成を予想しております。

なお、配当については従来の方針に則り、純資産配当率について、全上場企業の平均を常に上回ることを意識しながら引き上げて行く一方で、安定配当(原則、1株当たりの配当金が前期の水準を下回らないこと)を心掛けてまいります。当期の配当については、上記方針自体の変更はなく、中期経営計画期間内に達成目標として掲げている純資産配当率8%の達成を志向して1株当たり32円を予想としております。

配当金の推移（株式分割調整後）

(単位：円)



2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,593,169	10,549,321
受取手形、売掛金及び契約資産	4,228,796	4,497,312
有価証券	500,000	500,000
仕掛品	17,868	13,018
原材料及び貯蔵品	55,016	61,778
前払費用	1,163,320	1,206,452
その他	211,287	304,360
貸倒引当金	△3,516	△3,782
流動資産合計	20,765,941	17,128,462
固定資産		
有形固定資産	549,165	622,059
無形固定資産		
ソフトウェア	342,474	229,721
その他	38,028	34,484
無形固定資産合計	380,502	264,205
投資その他の資産		
投資有価証券	830,184	932,163
関係会社株式	—	409,853
長期前払費用	10,158	4,735
敷金及び保証金	826,752	803,279
繰延税金資産	864,785	718,248
その他	145,566	277,278
投資その他の資産合計	2,677,446	3,145,558
固定資産合計	3,607,114	4,031,823
資産合計	24,373,055	21,160,286

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	769,142	694,125
リース債務	6,112	7,704
未払金及び未払費用	783,077	755,568
未払法人税等	797,648	538,227
契約負債	3,766,666	2,988,755
資産除去債務	49,224	22,437
賞与引当金	1,232,404	655,270
役員賞与引当金	140,888	70,032
受注損失引当金	11,363	1,263
株式給付引当金	131,442	102,165
その他	752,649	621,653
流動負債合計	8,440,619	6,457,204
固定負債		
リース債務	27,111	23,561
資産除去債務	305,984	315,033
繰延税金負債	1,350	2,491
固定負債合計	334,446	341,086
負債合計	8,775,065	6,798,290
純資産の部		
株主資本		
資本金	345,113	345,113
資本剰余金	417,417	270,367
利益剰余金	16,490,130	15,686,009
自己株式	△1,688,845	△2,007,219
株主資本合計	15,563,815	14,294,271
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,193	10,474
繰延ヘッジ損益	△2,921	2,318
為替換算調整勘定	22,354	54,932
その他の包括利益累計額合計	18,239	67,724
非支配株主持分	15,934	—
純資産合計	15,597,989	14,361,995
負債純資産合計	24,373,055	21,160,286

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
売上高	20,938,513	22,828,303
売上原価	11,630,040	12,542,505
売上総利益	9,308,473	10,285,798
販売費及び一般管理費	5,682,574	6,213,031
営業利益	3,625,898	4,072,766
営業外収益		
受取利息	9,044	33,777
受取配当金	7,324	2,414
為替差益	1,118	—
助成金収入	4,139	3,212
その他	797	3,098
営業外収益合計	22,425	42,503
営業外費用		
支払利息	1,108	1,834
持分法による投資損失	—	10,138
投資事業組合運用損	14,740	70,727
支払手数料	11,874	51,175
為替差損	—	6,281
その他	91	0
営業外費用合計	27,814	140,157
経常利益	3,620,508	3,975,112
特別利益		
投資有価証券売却益	167,968	—
受取保険金	300	—
特別利益合計	168,268	—
特別損失		
固定資産除却損	140	—
リース解約損	86	—
特別損失合計	227	—
税金等調整前四半期純利益	3,788,549	3,975,112
法人税、住民税及び事業税	1,310,395	1,298,053
法人税等調整額	211,586	140,037
法人税等合計	1,521,982	1,438,090
四半期純利益	2,266,567	2,537,021
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,482	△5,159
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,270,050	2,542,181

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	2,266,567	2,537,021
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△130,534	11,668
繰延ヘッジ損益	△4,086	5,239
為替換算調整勘定	△32,365	43,449
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△11,475
その他の包括利益合計	△166,985	48,881
四半期包括利益	2,099,581	2,585,902
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,103,064	2,591,665
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,482	△5,763

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年7月1日 至2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年7月1日 至2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,788,549	3,975,112
減価償却費	371,086	324,000
株式報酬費用	8,715	2,378
受取保険金	△300	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△184	265
賞与引当金の増減額(△は減少)	△593,026	△577,134
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△53,788	△70,855
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△12,615	△10,099
株式給付引当金の増減額(△は減少)	△22,450	△29,277
受取利息及び受取配当金	△16,369	△36,191
支払利息	1,108	1,834
支払手数料	11,874	51,175
投資有価証券売却損益(△は益)	△167,968	—
持分法による投資損益(△は益)	—	10,138
投資事業組合運用損益(△は益)	14,740	70,727
助成金収入	△4,139	△3,212
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	125,097	△268,472
棚卸資産の増減額(△は増加)	△99,013	△1,912
仕入債務の増減額(△は減少)	14,285	△75,043
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	60,035	2,748
未払消費税等の増減額(△は減少)	△12,516	△36,129
契約負債の増減額(△は減少)	△676,281	△777,911
預り金の増減額(△は減少)	△111,637	△99,801
その他	572,129	229,541
小計	3,197,330	2,681,880
利息及び配当金の受取額	13,295	30,771
利息の支払額	△1,108	△1,834
助成金の受取額	4,139	3,212
保険金の受取額	300	—
法人税等の支払額	△1,726,608	△1,565,503
法人税等の還付額	339,657	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,827,005	1,148,527
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△70,757	△243,249
資産除去債務の履行による支出	—	△203
無形固定資産の取得による支出	△44,756	△71,508
投資有価証券の取得による支出	△190,154	△130,486
定期預金の預入による支出	—	△14,193
定期預金の払戻による収入	—	27,360
関係会社株式の取得による支出	—	△420,981
敷金及び保証金の差入による支出	△346,161	△3,693
敷金及び保証金の回収による収入	149,529	27,109
保険積立金の積立による支出	△4,459	△4,459
その他	218,515	△155,972
投資活動によるキャッシュ・フロー	△288,245	△990,279

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△7,619	△4,992
支払手数料の支出	△11,699	△52,110
自己株式の取得による支出	△701,263	△3,001,836
配当金の支払額	△708,296	△930,856
非支配株主からの払込みによる収入	22,680	—
自己株式の売却による収入	349,911	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△21,717
その他	△91	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,056,378	△4,011,512
現金及び現金同等物に係る換算差額	△29,861	26,170
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	452,520	△3,827,094
現金及び現金同等物の期首残高	11,976,585	15,162,045
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,429,105	11,334,951

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(従業員及び執行役員に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、2024年6月期(第28期)より、従業員及び執行役員(以下「従業員等」という。)への福利厚生及び当社の企業価値向上に係るインセンティブとして、株式交付信託を導入しております。

1. 取引の概要

本制度は、予め当社が定めた株式交付規程に基づき、一定の要件を満たした従業員等に対してポイントを付与し、当該従業員等のうち株式交付規程に定める受益者となる要件を満たした者に対して、当該受益者に付与されたポイント数に応じた当社の普通株式(以下「当社株式」という。)を給付します。給付する株式については、予め信託設定した金額により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理するものであります。

2. 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末において、788,116千円、559,778株、当第3四半期連結会計期間末において、655,604千円、465,799株であります。

(役員に対する業績連動型株式報酬制度)

当社は、2025年6月期(第29期)より、当社の取締役(監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。)に対し、信託を用いた株式報酬制度(以下「本制度」という。)を導入しております。

本制度は、取締役(監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。)が株式を交付した後の期間も含めて企業価値の向上に対するインセンティブをより長期間働かせることを目的としております。

1. 取引の概要

本制度は、当社が金銭を拠出することにより設定する信託(以下「本信託」という。)が当社株式を取得し、当社が取締役(監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。)に付与するポイントの数に相当する数の当社株式が本信託を通じて取締役(監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。)に対して交付されるという株式報酬制度です。

2. 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末において、349,911千円、178,800株、当第3四半期連結会計期間末において、349,911千円、178,800株であります。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	連結決算 開示事業	デジタルト ランスフォー メーション 推進事業	経営管理 ソリューション 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,930,083	7,712,303	6,992,939	20,635,325	303,188	20,938,513	—	20,938,513
セグメント間の内部 売上高又は振替高	210,949	16,895	23,225	251,070	12,660	263,730	△263,730	—
計	6,141,032	7,729,198	7,016,165	20,886,396	315,848	21,202,244	△263,730	20,938,513
セグメント利益	1,663,751	1,312,576	1,316,635	4,292,963	69,888	4,362,852	△736,953	3,625,898

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報・サービス事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△736,953千円には、セグメント間取引消去783,820千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,525,432千円及び固定資産の調整額4,657千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	連結決算 開示事業	デジタルト ランスフォー メーション 推進事業	経営管理 ソリューション 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,914,923	8,451,867	7,114,375	22,481,166	347,137	22,828,303	—	22,828,303
セグメント間の内部 売上高又は振替高	226,669	5,265	24,646	256,581	18,654	275,235	△275,235	—
計	7,141,592	8,457,133	7,139,022	22,737,747	365,791	23,103,539	△275,235	22,828,303
セグメント利益	2,305,500	1,580,387	947,238	4,833,126	57,942	4,891,069	△818,302	4,072,766

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報・サービス事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△818,302千円には、セグメント間取引消去940,311千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,756,478千円及び固定資産の調整額△2,134千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結累計期間より、業績管理区分の見直しを行い、事業セグメント「その他」を新たに追加しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを開示しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間（自 2024年7月1日 至 2025年3月31日）

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	連結決算 開示事業	デジタルトラン スフォーメーシ ョン推進事業	経営管理 ソリューション 事業	計		
一時点で移転される財 又はサービス	180,317	30,011	58,300	268,630	—	268,630
一定期間にわたり移転 される財又はサービス	5,749,765	7,682,291	6,934,638	20,366,694	303,188	20,669,883
外部顧客への売上高	5,930,083	7,712,303	6,992,939	20,635,325	303,188	20,938,513

当第3四半期連結累計期間（自 2025年7月1日 至 2026年3月31日）

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	連結決算 開示事業	デジタルトラン スフォーメーシ ョン推進事業	経営管理 ソリューション 事業	計		
一時点で移転される財 又はサービス	280,292	43,949	45,718	369,960	—	369,960
一定期間にわたり移転 される財又はサービス	6,634,631	8,407,917	7,068,656	22,111,205	347,137	22,458,343
外部顧客への売上高	6,914,923	8,451,867	7,114,375	22,481,166	347,137	22,828,303

(重要な後発事象)

該当事項はありません。